

「リフレッシュ理科教室」の開催にあたって

公益社団法人 応用物理学会 人材育成・教育企画委員会

リフレッシュ理科教室 全国実行委員会委員長

よねた みのる おかやまりかだいがく
米田 稔 (岡山理科大学)

＜小中学生のみなさんへ＞

青色の空は気持ちをうきうきさせ、赤色の夕焼は心を温めてくれます。たくさん雲で覆われた空を見ると暗い気分になることもありますが、よく見るときれいな模様を発見できることがあります。また、雨の日には雨粒が落ちてきますが、当たっても痛くないですね。そして、雨上がりには七色の虹を見つけたこともあるでしょう。みなさんは、このようにふしぎに思ったことはありませんか。

また、どうしてテレビに人やものが映るのか、電話やスマートフォンを使うと遠く離れた方と話ができるのか、冷蔵庫でジュースが冷えるのか、どのようにして自動車は動くのかなど、ふしぎに感じることはありませんか。

みなさんが「なぜ？ どうして？」と感じること、そのふしぎについて考えようとするのはとても大切で素晴らしいことです。「理科」とは、みなさんのふしぎを解決し、「そうか！ こんなふうになっていたのか！」と思う（理解する）ためのとても大切な一つの学びです。

わたしたちは、「理科は楽しいな！ おもしろいな！」と感じてもらえるように、「リフレッシュ理科教室」に楽しい工作や実験を用意しました。さあ、これらにチャレンジしましょう。そして、ふしぎを考えてください。みなさんからのたくさん質問や相談をお待ちしています。

＜教員・保護者の皆様へ＞

世界規模で頻発する大きな災害に対して、人類には迅速な復興と危機の克服に向けた取り組みが求められています。そうした中、資源の少ない日本がこれらの課題に持続的に寄与・貢献するには、科学技術開発を支える優れた人材の育成が不可欠です。私達、応用物理学会は、人類の豊かな暮らしに資する科学技術の研究開発を目指す公益社団法人として、次世代の研究者や技術者の育成に取り組んでいます。

1997年より27年間、全国で科学技術の素晴らしさをご紹介する「リフレッシュ理科教室」を主催し、学校で利用できる理科実験や教材工作の紹介や最新の科学技術に関する講演会やワークショップを開催してきました。併せて、全国各地の団体や教員の先生がたのご協力・ご支援を戴きながら、生徒・児童向けの理科教室を開催して参りました。

2020年度以降、新型コロナウイルス感染症の拡大にて、小学校や中学校等での教育活動が制限される中、対面で開催してきた「リフレッシュ理科教室」の大半を開くことができなくなりました。しかし、少しでも科学技術に触れる機会を提供しようと、ICTを用いた「オンライン理科教室」をスタートしました。2023年度においても、社会情勢を鑑みて安心して「リフレッシュ理科教室」に参加して戴けるように慎重に準備・検討を行い、併せて「オンライン理科教室」の充実にも取り組んで参ります。

今もなお、人類は未解明の自然現象と対峙しつつ、科学技術によって生み出された多くの製品に囲まれて生活しています。自然現象や物理現象を解き明かし、新しい科学技術を開発する源になる学問が「理科」です。本学会は、学校教育における「理科」教育のご支援や生徒・児童の皆さんに新鮮な興味と感動を体験できる「リフレッシュ理科教室」を提供し、その結果、未来社会を科学技術面からリードする「理科」好きな生徒・児童が増えることを願っています。今後ともご支援をお願い申し上げます。